私のことば

埼玉国体に一致協力

埼玉県協会会長
藤間英一

しろうと会長の私も第二十二回国体（埼玉）を来年にひかえ、しかも今月は全日本総合ハンドボール選手権大会の開催で、いささか面くらっています。会長就任にさいして、埼玉県協会の役員諸君から交渉を受けたときは、まだ埼玉国体は決定していなかった。役員諸君もだいたい協会の形式的機構としての会長就任を要望したはずだし、私もそのくらいのつもりでお引き受けしたのです。ところが就任の翌年あたりから埼玉国体の話が持ち上がり、電光石火的に決定してしまいました。そうなってみると、そんなつもりで会長就任を受諾したしろうと会長の私でも、いろいろな仕事が待ち構えるようになりました。

会長には二つのタイプがあります。その一つはいわゆる大物会長で協会の上に君臨し、予算面など豊富な財力や外交手腕によって見事に協会に寄与する。しかしその反面、協会の仕事はまかせっきりのタイプである。もう一つはそれまでの大物ではない。対外的にも大して顔はきかないし財力もないが、まじめに協会の仕事をそれなりに一生懸命努力するタイプでする。もちろん私には会長として前者の器がないとすれば、できるだけ努力をしてよい意味で後者の会長たることに誇りを持たねばならないし、そうなろうと考えるようになりました。

そんな私も会長就任いらい、いろいろな問題に取り組んできました。最初のころは県ハンドボール協会の拡充強化の問題と、普及の問題が大きな柱であった。それはとても一朝にして解決のつく問題でない。そのなかに国体開催が決まり、しかも私の学校がハンドボール会場となりました。そうなると、しろうと会長の周辺も急に多忙となり、会場整備の問題、選手強化の問題、大会運営力強化の問題。さては浦和市当局にたいするムードづくりの問題と、多くの問題をかかえるようになりました。幸いにして私の学校が浦和市立である。国体ハンドボール競技の主催が浦和市とあって、苦しい市の財政の中にありながら予算の面で、めんどうを見てもらえ、一応は成功したと自負しています。そして当面は今月の全日本総合選手権大会の運営を目標に、仕上げを急いでいるところです。

最後に埼玉国体について、私は私なりに対処したいと思っています。私は埼玉国体が成功するよう、いまから関係者と一致協力していきたいと思っています。

× × ×

ハンドボール「第35号目次」

昭和 41 年 8 月号

〔表紙写真〕 第19回都民体育大会ハンドボール競技でレフェリーをつとめた国原英子先生

優秀チーム・優秀選手を発表

高校男子・桜台から5人

日本ハンドボール協会はこのほど、40年度の優秀チーム、優秀選手を発表した。

優秀チーム男子	優秀チーム女子
大崎電気	田村紡績
芝浦工大	大洋デパート
全立教大	大崎電気
大阪イーグルス	愛知紡績
同志社大	日体大

◇優秀選手

一般の部						高校の部					
男子			女子			男子			女子		
位置	氏名	所属	位置	氏名	所属	位置	氏名	学校名	位置	氏名	学校名
GK	福本　弘	大崎電気	GK	渡辺美智子	田村紡	GK	南　一夫	佐野工	GK	山田いずみ	静岡城北
〃	尾形　譲	全立大	〃	山口律子	大洋デパート	〃	入沢　久	清水市商	〃	有働洋子	菊池農
〃	高橋邦男	日体大ク	〃	古谷芳枝	大崎電気	FP	大石正規	〃	FP	門間和子	涌谷
FP	吉金　勇	芝浦工大	FP	種村好子	田村紡	〃	高鍬義人	桜台	〃	小林八重子	静岡城北
〃	近藤信行	〃	〃	川口清子	〃	〃	大矢信治	〃	〃	堀　妙子	〃
〃	近森克彦	〃	〃	水谷秀子	〃	〃	高橋　実	〃	〃	黒柳みどり	〃
〃	安達精太	全立大	〃	渡辺好子	〃	〃	日下正夫	〃	〃	中務千草	梅花
〃	江名英彦	〃	〃	久連松美和子	大洋デパート	〃	浅野鉦世	〃	〃	浅井喜美子	山陽女
〃	木野　実	〃	〃	西村八千代	〃	〃	芦沢一信	清水市商	〃	山口レイ子	明善
〃	北村文雄	〃	〃	中村千恵子	〃	〃	有本　充	名城大付	〃	藤野朱美	大分東
〃	竹野奉昭	大崎電気	〃	新保郁子	〃	〃	西脇秀治	〃	〃	垂水秀代	菊池農
〃	北村尚英	〃	〃	笠原喜代子	大崎電気	〃	鳥川美雄	三国丘	〃	前田光子	新居浜西
〃	井上素行	〃	〃	黒川泰恵	〃	〃	井上亮一	明石	〃	五十嵐明美	水海道二
〃	金田純男	〃	〃	早川清美	〃	〃	塩崎信治	新居浜工	〃	綱川千枝子	栃木女
〃	東　嘉伸	大阪イーグルス	〃	鈴木功子	〃	〃	榊　崇	大分商	〃	金子久代	〃
〃	青木義男	〃	〃	小林トメ	愛知訪	〃	松本正弘	熊本市商	〃	鹿子木智子	熊本市立
〃	北岡大覚	〃	〃	古谷うめ子	〃	〃	鈴木幸男	明星	〃	佐々木真砂子	秋田和洋女
〃	林　政弘	同志社大	〃	北村怜子	日体大	〃	吉田光正	下関中央工	〃	落合千鶴子	〃
〃	飯端寿昭	関大	〃	斎藤光子	東京重機	〃	高橋善治	氷見	〃	宇多洋子	徳山
〃	福本博英	明大	〃	赤塚たず子	揖斐川電気	〃	喜田建男	佐野工	〃	小島啓子	高岡女
〃	北井晴次	教大	〃	田辺世津子	栃木女ク						

市原選手にその意思なし

プロ・ボクサー転向問題

本誌（32号）に掲載された「広島広松会市原のプロボクサー転向」をいうニュースは、広島協会を驚かせ、同協会は市原則之選手を呼んで事情を聴取した。その結果、同選手が広島の某ボクシングジムに出入りしたことは事実だが「プロボクシングへ転向する意思は全くない」ことを確認した。広島協会は日本協会にたいし、機関誌の記事訂正を申し入れるとともに今後の競技会で同選手のアマチュア資格が問題とならぬよう要請した。

この問題について高嶋理事長は「市原選手はプロボクサーとしてのライセンスを得たわけでもなく、プロボクサーと試合をやったわけでもないので、私個人としてはアマ資格を失っているとは考えない。

正式には近く理事会などでこの問題をかけ承認してもらうつもりだ。しかしこの機会に、そうした誤解を招くような態度を慎しむよう全国に勧告をする」と話している。

なお市原選手自身も、日本協会あて「事情説明書」とともに遺憾の意を表した文書を送っている。

問題の発端は、スポーツ新聞S・M紙（本社・東京）が4月上旬に「市原、プロ・ボクシングへ転向」として写真（スパーリングする同選手）付きで報じたことからである。

〔参考〕日本ハンドボール協会アマチュア規定によれば「日本ハンドボール協会の許可を得ないでアマチュア以外のものと競技したもの」はアマチュア資格を失うとしているが「練習したもの」については特に規定していない。

〔注〕**本誌32号の該当記事はその事実がないので訂正します。**

これからも ハンドボールを

△**市原選手の話** 私自身、ボクシングに転向する意思は全くなく、みなさんご迷惑をかけたことは申し訳ありません。私はハンドボール一筋に生きてきましたし、今後もハンドボールを続けていきます。今度の問題を戒しめとしてこれからは一層注意いたします。

× × ×

広島県協会からの報告

機関誌「ハンドボール32号」の7ページに掲載の「1966年の展望（上）」に広松会（菊商会は誤り）の記事中「**エース市原（元大崎電気）がプロボクサーに転向してしまったのは痛い**」とありますが、本協会としては事の重大性にかんがみ、本人に照会しました。その結果、本人にその意思はなく、どうしてこれが記事になったかについても本人の言動が誤解を呼んだというには、あまりにも飛躍しすぎたものでぼう然としている状態です。そこで機関誌にたいして訂正を申し入れ、今後の各種大会でこの記事を理由に対戦チームから抗議のないようにしていただきたい。

広島県ハンドボール協会
会長　川上　正

◇**真相**（広島県協会の副申書から）市原が友人関係である広島市蟹屋町の山村ボクシング・ジム（責任者山村若夫）に、ハンドボールのトレーニングの帰り、またはトレーニングに生徒補導を兼ねて出入りしていたことは事実である。その山村ボクシング・ジムの性格は最近できたもので、近くアマチュア・ジムの申請を用意していた。市原がトレーニングの帰りにハンドボールの服装のまま同ジムに立ち寄ったとき、なに気なくサンドバッグを打った瞬間に写真をとられた。あとで友人に聞くと、その友人もよく知らないスポーツ新聞（紙名不明）の委嘱記者とでもいった人間であり、そのときはひとことも口を聞かなかった。数日後にこのスポーツ紙を見て市原が非常に驚いた。「市原、**プロボクサーに転向**」の見出しが出ていた。

本協会が知ったのは、機関誌によって事の重大性を知り、理事会で協議した。この結果①新聞記事の訂正を求める②機関誌記事の訂正を求める③真相を究明する④日本協会に報告し、了承を求めることを決めた。

第17回全国高校選手権大会展望

桜台の二連勝か（男子）
静岡城北—菊池農の決戦（女子）

清水 正

第17回全国高校ハンドボール選手権大会は8月3日から8日まで盛岡市の岩手県営運動公園球技場で開かれる。

男子の部

昨年度超高校級の実力を持ち、ダブル・クラウンを得た桜台（愛知）が本命にあげられる。9人のレギュラーを送り出し、GK杉山のみで本年度シーズンを迎えたが長い伝統と稲石監督の好リードでよくまとまっている。とくにすぐれたプレーヤーは見当たらないが全員が得点力を持ち、伝統的な速攻もずば抜け、二連勝も大いに期待される。

次いで一昨年優勝の明星（東京）名城大付（愛知）下関中央工（山口）佐野工（大阪）熊本市商（熊本）などがあげられる。明星は昨年インターハイでも組み合わせが悪く、また国体ブロック予選でも塩山商（山梨）に不覚の一敗を喫し、影も薄れがちの感があったが実力は相当高く評価されている。ことしも堅いディフェンスと巧みなボールさばきに、ロングシュートも強く、そのすぐれた走力とともにかなりの得点力を持っている。

昨年初出場ながら準優勝した名城大付は7人の卒業生を出したが、中学時代からの経験者なのでよくまとまっている。キャリヤもあるのでかなり期待できる。下関中央工は昨年の国体で準優勝したときのメンバーを4人残している。スピードと長身を利しての攻撃力には威力がある。熊本市商は昨年度から不動のメンバー。チームのコンビネーションもよく全員が平均した力を持っている。ことしの九州大会の優勝の余勢を駆って本大会もねらっている。

ダークホースは、巧みなボール扱いでセットプレーのじょうずな函館東（北海道）、ディフェンスにやや難があるが地元の期待を集めた盛岡一（岩手）、昨年国体四位となり小粒ながら忠実なプレーを生かす麻生（茨城）長身者が多く強力なシュート力と速い切り込みを持つ洛星（京都）、試合巧者で速攻と鋭いゲームのカンを持つ三国丘（大阪）それに大分商（大分）も期待される。そのほか氷見（富山）新居浜工（愛媛）も見のがせない。

女子の部

静岡城北（静岡）の二連勝の色が濃い。城北は昨年のメンバーから5人を送り出したが、全体的に大柄のチーム。しかも持ち前のスピードと抜群のシュート力を持っている。次いで昨年度インターハイで惜しくも優勝を逸したが、国体で見事優勝した菊池農（熊本）があげられる。菊池は超高校級といわれた垂水をはじめ、ポイントゲッター青木などレギュラー6人を卒業させ、チームとしては小型となった。しかし持ち前のファイトと本年度九州大会で優勝したことからみても本命とも思われる。この両チームに続いて山陽女子（広島）稲沢（愛知）が期待される。

ただ寂しいのは東日本勢の低調である。過去に優勝記録を持つ水海道二（茨城）栃木女子（栃木）などがチーム力も弱まり、本大会出場すら危ぶまれている。地域的に見ると、北海道で室蘭商が恵まれた体力でオールラウンドのプレー、東北地区で花巻南（岩手）涌谷（宮城）秋田和洋（秋田）などが期待される。

= = =

第17回全国高校選手権大会組み合わせ

海外スコープ

西ドイツが優勝 11人制世界選手権

第7回男子11人制ハンドボール世界選手権大会は6月25日から7月3日までオーストリアの各市で開かれた。参加6カ国の総当たりリーグ戦の結果、東西両ドイツがともに4勝1引き分けとなったが、大会規定（得・失点の差）で西ドイツが東ドイツの2連勝をはばんで優勝した。

ポーランド	15―13	スイス
西ドイツ	28―7	オランダ
東ドイツ	24―8	オーストリア
東ドイツ	13―8	スイス
オーストリア	12―5	オランダ
西ドイツ	26―4	ポーランド
東ドイツ	15―9	ポーランド
スイス	20―13	オランダ
西ドイツ	17―15	オーストリア
東ドイツ	23―9	オランダ
西ドイツ	18―12	スイス
オーストリア	19―15	ポーランド
オーストリア	17―15	スイス
ポーランド	（記録不明）	オランダ
西ドイツ	15―15	東ドイツ（引き分け）

（順位）①西ドイツ4勝1分け（得点104、失点53）②東ドイツ4勝1分け（得点90、失点49）③オーストリア3勝2敗④ポーランド2勝3敗⑤スイス1勝4敗⑥オランダ5敗

ことしが最後の選手権か

―11人制ハンドボールの危機―

サッカー世界選手権で、西ドイツ人にたいする賭けは14対1である。ところがサッカーの親類のハンドボールでは、賭けはむだである。それはドイツの世界屋外（11人制）選手権獲得は確実だからである。

「世界選手権という呼称はユーモアである」と、チューリッヒのシュポルト誌は、6月26日から7月3日までのウィーンの屋外ハンドボール世界選手権大会を「やっとのことで最少数の6カ国が参加した」と批判した。西ドイツは1917年にハンドボールを始めた。1936年の最初のオリンピック競技（優勝はドイツ）には6チームが参加した。1955年の世界選手権大会には、すでに17カ国が参加した。

勝利が滅亡へ

しかし西ドイツがつねに勝ったことが、西ドイツ人の人気スポーツのマイナスになった。というのは西ドイツ人は第二次世界大戦後、全ドイツ・チームを編成して屋外選手権大会では無敗を続けたからだ。このため西ドイツ人の国際試合の相手は少なくなる一方であった。スカンジナビア人と大部分の東欧諸国はまもなく（屋内でも屋外でも）小フィールド・プレー（7人制）に集中するようになった。つまり西ドイツの勝利が11人制への滅亡へと導いた結果になったといっていい。

西ドイツのハンドボール専門家たちは、屋外プレーを救うために米国、日本およびイスラエルに派遣された。しかし1959年にはすでにオーストリアのBチームが参加したければならなかった。さもないと、4チームずつの2グループによる世界選手権大会は実行できなかったからだ。米国チームは、まだ市民権も獲得していない移住した西ドイツ人をまじえて編成された。1963年に初めて東西ドイツの二つのチームがプレーした。決勝で東ドイツ・チームが西ドイツに勝った。そこで大部分の外国人は最終的に興味を失った。彼らはドイツの二チームを相手にしては（以前のように）少なくとも決勝に進出するチャンスもなくなったと考えた。

東西ドイツが協力

ことしの世界選手権大会には、米国、イスラエルが参加を断わった。西ドイツはオーストリアとスイスの出場だけをあてにすることができた。屋外ハンドボールのさし迫った滅亡のを救うために、東西両ドイツは（互いに話し合わなかったが）それぞれ努力を始めた。競争相手不足のために確実に優勝できるチャンスをなくさないようにしようとして、東ドイツ協会は隣のポーランドを参加させようとした。西ドイツは、コーチ第一人者のケスラーがオランダを誘った。

西ドイツ国内でさえ困難が生まれた。大部分の優秀プレーヤーたちは屋内ハンドボール（7人制）への転向してしまった。残った屋外チームのメンバーは、コーチのウェルナー・ビックがヘルベルト・リュプキング、ベルント・ムンク両選手を屋内チームから借りねばならなかったほど弱体であった。世界選手権大会開会式はなるほどだけがオリンピック並みであった。千五百羽のハトが空中に飛んだ。それにもかかわらず、屋外ハンドボールの終末は目にみえていた。

西ドイツ・ハンドボール連盟の外国部長ウィルヘルム・ブーベルト氏は「今後屋外世界選手権大会が開かれるとは思わない」とあきらめていった。

× × ×

第一戦はハンガリー

来年の世界選手権

第6回男子7人制ハンドボール世界選手権大会は来年一月十二日からスウェーデンで開かれるが、このほどIHF（国際ハンドボール連盟）から日本協会へ大会スケジュールを連絡してきた。

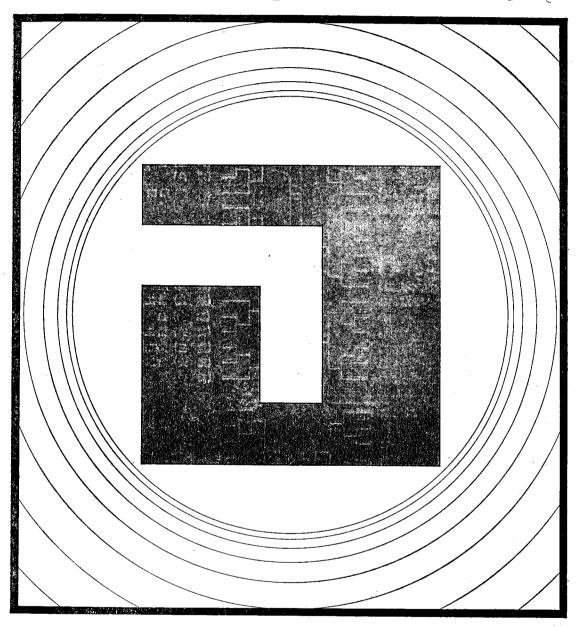
〔第一次リーグ〕

▽1月12日（木）
日本対ハンガリー

▽13日（金）
日本対西ドイツ

▽15日（日）
日本対ノルウェー

〔注〕全スケジュールは次号。

九月にIHF総会

国際ハンドボール連盟（IHF）は9月2、3日の両日、コペンハーゲン（デンマーク）で通常総会を開く。

国際試合の個人得点から

竹野（大崎電気）が333点

2位は山田幸（芝浦工大）

本誌6月号の海外スコープの中に，「西ドイツのミューライゼンが国際試合で128点（歴代3位）をあげた」と書いてあった。これは西ドイツのハンドボール週刊誌に掲載されたものである。そこで私は日本選手が国際試合でどのくらい得点をあげたかについて調べてみた。ただ日本の場合は，海外遠征の全成績，外国チームの日本遠征などすべての国際試合を含んでいる。（西ドイツの場合は公式な国際試合のみの得点と思われる）。非常に興味深い記録がでてきたので，ハンドボール関係者にお知らせする。（所属はいずれもその当時のもの）

鷲尾武治

——竹野が27点でトップ——
——世界選手権——

竹野選手

私は日本で最多得点者は竹野奉昭（大崎電気）と思っていたものの、その得点があまりにも大きすぎるのに自分ながら驚いた。「よくもまあー、こんなに」と思うほど。333点である。別表を見ればすぐおわかりと思うが、この記録は当分の間、いや日本にハンドボールがある以上破られることはないだろう。私はそう確信している。西ドイツのようにハンドボール王国、しかもヨーロッハという立地条件に恵まれているとはいえ、西ドイツの最多得点王はヒニ・シュベンカーの212点である。国際試合に比較的恵まれぬ日本が、ヨーロッパ遠征のときにあげた得点は、西ドイツのそれとは比較にならないというかもしれないが、竹野のあげた333点は偉大な記録である。しかも竹野は過去2回世界選手権大会に出場し、5試合で27点をたたき出している。彼がいかに日本のエースであるかが、この記録によってもよくわかる。

男子世界選手権大会個人得点
（1961年，1964年）

	試	得
1. 竹野奉昭（大崎電気）	5	27
2. 住広尚三（芝浦工大）	3	7
3. 北村尚英（大崎電気）	3	5
4. 東　嘉伸（日体大出）	3	4
5. 井上素行（大崎電気）	2	3
5. 佐藤宏輔（芝浦工大）	2	3
5. 深江幸次郎（関学出）	2	3
8. 田口侑義（大崎電気）	5	2
8. 新　繁樹（芝浦工大）	2	2
8. 服部和記（芝浦工大）	2	2
11. 宮原藤支男（大崎電気）	4	1
11. 山田幸男（芝浦工大）	2	1

世界選手権大会における
竹野選手の得点

	試合		得
1961.3.1	●日本10—38	チェコ	4
3.2	●日本11—29	ルーマニア	6
1964.3.6	○日本18—14	ノルウェー	9
3.7	●日本10—40	ソ連	2
3.9	●日本12—36	ルーマニア	6
		計	27

〔注〕対ソ連戦のとき，竹野選手は，前半5分に左マブタを切り，途中退場している．

大崎入社後に成長

竹野は「ハンドボールは県外遠征できるのが魅力で、済々黌高校時代にハンドボールを始めた」といっているが、彼の持つ天才的な素質、ハンドボールを全国に普及したといっていい日体大に在学したことが竹野を生んだ基となった。だが、彼が日体大を卒業してクラブチームに籍をおいていたとしたら、いまの竹野は生まれていなかったと思う。新興チームの大崎電気の渡辺社長の目にとまり、そして大崎電気でプレーするようになってから、ほんとうに磨きがかかった。これが2度にわたる世界選手権出場、昨年4月の中国遠征となって竹野の技術は年を追ってすばらしいものになった。竹野をちょっとほめすぎたかもしれないが、それは勘弁してもらいたい。彼ほどの選手はもう生まれないと思う。少なくとも国際試合の333点を考えたときに……。

戦後の初の1点も竹野

竹野は西ドイツが来日したとき、全日本学生チームの一員として出場した第一戦の前半3分、1—0とリードされたあと竹野がゲットして1—1した。これがリー

——私の提案——

クラブチームに新しい道

愛知協会は今シーズンからクラブチームだけの県大会を開くことを決め、近くその第一回大会が開かれる。クラブチームの処遇については、4月の全国理事長会議でも中心議題の一つにされたと伝えられ、実業団チームが質量両面で躍進めざましいだけに、たしかにこの問題は球界にとって〝深刻〟であった。クラブチームがこれまでに、残した足跡は偉大なものがある。各クラブの伝統と実績を、時流というひとことで押し切ることは不可能といってもよいほどである。

しかし現実には、各地で実業団がクラブを制し、練習条件や運営条件（主として経済面）の相違にいや気がさして、〝開店休業〟状態のクラブチームが目立つようになってきている。ある記者は「いまや多くのクラブは、試合を目的としないOBの同窓機関的存在でしかない」と極言しているほどだ。こうしたクラブチームに新しい道を開き、もう一度OBたちをグラウンドに連れ戻す方法について、各

ディングゲッターとして君臨する彼の第一投であり、しかもこの1点が、戦後日本選手が外国チームのゴールを割った最初の得点であったのも奇しき因縁である。

竹野、最多得点者に
世界選手権

一昨年三月プラハの第5回男子7人制世界選手権大会Dブロックの予選3試合で、竹野は17点をあげて最多得点者に選ばれ表彰された。ノルウェーに勝ったときは9点（日本18—14）、ソ連戦には前半5分に負傷、退場したためわずか2点（ソ連40—10）だったが、対ルーマニア戦には堂々と6点をあげた（ルーマニア36—12）。日本があげた40点のうち17点、得点率は・425。とくに対ノルウェー戦の9点は、日本に勝利をもたらしたといっても過言でない。

竹野「五輪目ざす」

あるとき私は竹野に「君はいままでの世界選手権をはじめ国際試合に出場して、自分でどのくらい点をあげたか知っているか」と聞いてみた。竹野はしばらく考えてから「150点ぐらいですか？」というので「私の調べたところでは世界選手権で27点、国際試合で306点、合計333点だ」と説明したらびっくりしていた。話は脱線したけれど、1972年のミュンヘン・オリンピックには日本も参加するだろう。私は竹野が六年後のオリンピックまでハンドボールを続けてほしいと思っている。つまりオリンピックに出場してもらいたいのだ。これはもちろん日本ハンドボール協会が決めることだが、もし竹野自身に〝オリンピックに出場したい〟という気持ちがあるなら若い連中に遠慮することなく、きょうからでも猛練習を始めてほしい。ことし30歳というから、まだ現役を引退するのは早い。彼の持っている天才的な素質は一日や二日で消えるものではない。体力、スタミナ、走力を身につけることだ。一昨年の世界選手権大会に出場したチェコスロバキアのマレシュ選手は当時37歳。頭ははげ上がっていたが、あの精力的な動きは驚くべきものがあった。チャンスメーカーとして60分間走り続けていた。マレシュ選手にできることが、竹野にできないことはない。要は竹野の心がけ一つ。

ただ六年先に竹野が一昨年のようなすばらしい働きをするかどうか疑問に思う人があるかもしれない。しかしその心配は竹野のヤル気一つで解決される。対ソ連戦にソ連が意識的に竹野を負傷させたほど各国チームから恐れられている選手だ。竹野がいるだけで、相手に与える脅威は大きい。竹野はこう言っていた「六年先のオリンピックまで体力が持つかどうかはわからない。しかし自分の持っている抜術はすぐなくなるものでない。私は〝走り〟だけが心配です。でもこれは、日常生活において節制し、毎日トレーニングすれば解決できると思う。私はオリンピックを目ざす」。

竹野に次ぐのは安達
学生世界選手権で

ナショナルチームによる世界選

所で検討が加えられていることは当然のことである。むしろおそきに失した感じさえある。

愛知協会が全国にさきがけて開くクラブ大会の成功を期待するとともに、各府県協会がこの試みに続くよう望みたいものだ。競技人口、チーム数の増加が予想されるこれからは、成人部門は学生（大学）実業団、クラブの3パートに分けるのが良策と思う。その代表チームによって「県選手権」が争われるべきではなかろうか。地方協会のこうした動きと同時に、東西をはじめ各学連が「OBリーグ」を積極的に開くよう提案したい。なお一部にはクラブチームだけの全国選手権をという声もあるようだが、現状ではむずかしい（杉）

国際試合個人得点

世＝世界選手権　国＝国際親善試合
◎印＝学生選手権
（所属は当時のもの）

	世	国	計
竹野奉昭（大崎電気）	27	306	333
山田幸男（芝浦工大）	1	92	93
安達精太（立　大）	◎15	73	88
青木義男（日体大）	0	74	74
住広尚三（芝浦工大）	7	64	71
北村尚英（大崎電気）	5	60	65
藤原　侑（日体大）	◎ 3	55	58
市原則之（広島商大）	◎ 7	49	56
服部和記（芝浦工大）	2	53	55
高村武彦（関　大）	0	50	50
井上素行（大崎電気）	3	44	47
佐藤宏輔（芝浦工大）	3	41	44
田口侑義（大崎電気）	2	35	37
北山　隆（日体大）	0	30	30
浅野和郎（京　大）	◎ 5	24	29
近藤金博（芝浦工大）	0	29	29
東　嘉伸（日体大出）	4	22	26
小林平八（日体大）	0	25	25
深江幸次郎（関学出）	3	21	24
井上裕人（日体大）	1	23	24
餅原正脩（大崎電気）	0	23	23
新　繁樹（芝浦工大）	2	20	22
金田純男（大崎電気）	0	21	21

〔20点以下〕

19, 中根（立大）, **17**, 粟山（日体大）**14**, 大野（桃山学院）諏訪（慶大）, **13**, 宮原藤支男（大崎電気）青木（千代田印刷機）**11**, 沢田（日体大）**10**, 川上（日体大）石井（同志社大）安藤（千代田印刷機）吉川凱（桃山学院大）浅野（日体大）皆川（日体大ＯＢ）（9点以下略）

〔注〕　国際試合とは，戦後の世界選手権世界学生選手権を除くすべての試合（11人制，7人制）をさす。西ドイツ，ルーマニア，フランス，韓国，西ドイツ海軍チームの来日，日本チームの二度にわたるヨーロッパ遠征，学生チームのヨーロッパ遠征，日体大の韓国遠征です。このうち学生チームの国際試合4試合（ボッフム，エッセン全西ドイツ，パリ学生）韓国学生対関東学生選抜。1961年のヨーロッパ遠征のうち第13戦（北ボヘミアン）第18戦（ノルマンディー）はいずれも記録がないので含まず。なお日本高校チームの韓国，沖縄遠征，韓国高校チームの来日は含んでいません.

手権と、学生の世界選手権とは比較できないが、学生世界選手権に出場した安達精太（立大）の15点も実にりっぱである。スウェーデン（26—15）戦に8点、デンマーク戦（34—11）に2点、スペイン戦（31—9）に5点をあげている。日本の総得点35点のうち約5割に近い17点は竹野君に次ぐ記録である。国際試合の73点も断然光っている。彼がもし実業団チームに身を投じ、世界選手権出場のチャンスに恵まれていたら竹野君といい勝負をしたのではないか。

安達選手

世界選手権大会（1961年、1964年）の個人得点は竹野の27点を最高に住広尚三（芝浦工大）7点、北村尚英（大崎電気）5点、東嘉伸（日体大出）4点がある（別表参照のこと）

国際試合の個人得点を見ると、竹野のあとは山田幸男（芝浦工大）の93点、安達精太（立大）の88点、青木の74点、住広尚三（芝浦工大）の71点、北村尚英（大崎電気）の65点がある。（了）

75%がミュンヘン支持

西ドイツのアレンスバッハ世論研究所の最新の調査によると、西ドイツ国民（おとな）の75%がミュンヘンで1972年にオリンピックが開催されることを歓迎している。反対は6%、態度不明は19%だった。

また東西両ドイツが別々に選手団をメキシコ・オリンピックに参加させるとの国際オリンピック委員会の決定には、9%が賛成、17%が態度不明だったが、この決定を遺憾だとした者が74%にのぼっている。

ミュンヘン地下鉄を建設

1972年オリンピックの開催地ミュンヘンに地下鉄が建設されることになった。市議会がこのほど承認したこの地下鉄は全長4キロで、現在の南北に通じている地下鉄のシャワービングから分かれ、オリンピック・スタジアムとオリンピック村まで通じる予定。建設費は1万2千万マルクが見積もられている。完成のあかつきは12分間で市の中央のマリーンプラッツからオリンピック・スタジアムまで客を運ぶことができる。

◇長崎県新会長　中部長二郎（長崎市大黒町　大洋漁業長崎支社）

女子レフェリー登場
男子顔負けの国原先生

表紙写真

本誌の表紙は第19回都民体育大会ハンドボール競技（6月4日・駒沢第一球場）でレフェリーをつとめた国原英子先生（中野区立中央中学、東京都協会理事）のエレガントな姿である。大会があるといつも駆けつけ、理事会があるといつも一番乗り。非常に熱心な先生である。記録係りがいないと自分からこの仕事を買って出、あるいは救急係り、得点板係りと積極的に動いてくれる。東京都協会にはなくてはならない人である。もちろん中体連の大会となると自ら陳頭指揮とか。

さっそうとコートへ

この都民大会でも「私でよかったら女子のゲームのレフェリーをやります」と堂々としたもの。審判長の安藤純光氏は「国原先生、お願いします」と頼むと、国原先生はさっとホイッスルを持ってコートへ飛んで行った。黒のセーター、黒のスラックス姿。選手といっしょに44メートルのコートを汗だくで走り回る。「ピピッ。ピピッ」。ホイッスルが気持ちよく響く。なかなかうまい。中体連の試合でレフェリーをやっているとみえて、レフェリーの位置、ホイッスルを吹くタイミング、てきぱきとした処置など堂に入ったもの。試合が終わると安藤審判長のところへきて「私の笛、いかがでしたか。じょうずに吹けませんでしたが、悪いところがあったら指摘してください」と女性らしいところをみせた。なかなかの好評である。

私は十年前に名古屋市でバスケットボールを見たとき、女子レフェリーを見てびっくりしたことがあった。大学生といっしょに走り続け、そのレフェリーぶりには感心したものだ。「ハンドボールも早く女子レフェリーが出ないかなー」と思ったほど。それが都民大会で国原先生がりっぱに笛を吹いてくれたので、〝ハンドボールも一人前になった〟とうれしくなった。（幸）

×　×　×　×

品質と技術を誇る

株式会社宗形製作所

本社工場　大阪府高槻市辻子241番地
TEL. 高槻 (5) 5551 (大代表) 夜間休日 5750～2

関東営業所　横浜市西区久保町49番地
TEL. 横浜 (23) 4964・9119番

西ドイツの技術研究(4)

5:1防御にたいする攻撃法(下)

訳　藤本　強
(日本協会理事)

変化の仕方

第一の時期(第1図)

(1) 浮いた位置にいるプレーヤー3はボールをサイドにいるプレーヤー5にパスする。このパスで新たなフォーメーションが始まる。守備陣形は、ボールを持っているものをアタックするため、ボールのあるサイドに移動する。

(2) 右の浮いた位置にいるプレーヤー2は第二の攻撃ラインを形づくり、まずボールを持っている5をフリーにするように動き、それができない場合にはボールを受け取り、ボールを持ちゴールに向かって突進する。そしてシュート・フェイントをかけ、守備選手が詰めざるを得ないようにする。

(3) 守備選手がおびき出され、守備にすきが生じる。エリアにいるプレーヤー6は自分をマークしているプレーヤーを引き離すため、まず後ろにさがるフェイントをしたあと右に走り、ここでボールを受け取る。守備選手は6がフリーシュートできるようにマークに行かざるを得ない。

(4) 左のエリアにいたプレーヤー4は、6がボールをキャッチした瞬間、6をフォローするようにまずフェイントをかけてから右へ走る。

(5) 左の浮いた位置にあるプレーヤー3はボール所有者をフリーにするよう左へ走り、続く攻撃線をつくるようにする。同様にサイドにいる選手7は守備側選手を分散させるためと次の攻撃に備えるため、さらにサイドに位置を変える。

第1図

変化の仕方

第二の時期(第2図)

(6) エリアにいるプレーヤー6はボールを持ち、守備のスキをつくように走る。同時に後ろに続いて走っているポストプレーヤー4にバックハンドパスをする。ポストプレーヤー4は守備側選手を引き離し、ボールをキャッチする。

(7) ボールを持ったこのゴールラインへの走りによって、守備側選手はこれをつかざるを得ない。

(8) 浮いた位置にいるプレーヤー3はこの4の突進に続いて、ゴールに向かい切り込んで行く。プレーヤー2は敵の逆襲に備え、後ろにさがる。

第2図

変化の仕方

最終段階(第3図)

(9) ポストプレーヤー4は守備のスキができていることをよく知り、そこへ走り込んでくるプレーヤー3にまたパスをする。しかし3も守備側の選手にアタックされる。

(10) 左サイドのプレーヤー7はすぐ隣のプレーヤー3がフリーになるよう守備側のプレーヤーを引き出そうとつとめる。これがむだとわかると3からパスを受け、ゴールエリアに飛び込む。ジャンプシュートによってこの攻撃を終わらせる。

このような戦術上の変化は左のサイドに最後のポイントをおいたが、右の浮いた位置にいるプレーヤー2によっても同様な最終のシュートを打つことができる。この2へのパスによって、チームは新たにいろいろな変化ができる準備段階に戻ることになり、もう一度攻撃をすることもできよう。攻撃側の選手も守備側の選手も、それぞれ対応した動きをつかみ得たであろう。私はこの変化の仕方を攻撃のチーム全員が参加し、経験させることにしている。

第3図

ではこのような方法によって、どのような目的が実際に期待されようか。

（1）各選手はいつでも自分がチームの一員として定められた任務をもち、その任務はすべて総括されているものであり、彼自身の個性を発揮してはならないものであるということを体験する。

（2）選手は空間的にも時間的にもタイミングのピタリとあった走り、パス、キャッチを修得する。

（3）選手は彼自身の位置について、どの程度の深さ（ゴールエリアからの距離）広がり（サイドラインからの距離）をつかみ、必要以上にボールのある個所に集まってはならないことを理解する。

（4）選手はこれらの練習を通して攻撃、守備のいろいろなパターンを経験する。

（5）選手はこの変化の仕方を全部繰り返すことでこの変化の仕方を知り、応用するようになる。

パスの意味するもの

いままでに述べてきた図を使っての変化の仕方のなかで、攻撃の糸口を断ってしまわないでできる多くのパスがあることがわかったであろう。しかしながら、個々のチームを構成している人間の能力とチーム全員のコンビネーションとかどの程度にとれているかによって、パスというのは大きく変わってくる。パスというのは一定のフォーメーションの中で、最大に重要なものであることはいうまでもなかろう。

戦術の基本として要約すれば次のようになろう。

フォーメーションの走る方向はとどまることであり、ボールの方向は急激に向きを変えることである。

一つの例をあげよう（第4図）

（1）ボールを持っている2はこの場合、パスの全責任を持っている。実際、彼には非常に大きな任務があるのだ。

Ⓐ 選手2は自軍の選手の位置、相手側の選手の位置を的確に知り、その攻撃体形と守備体形がどのようになっているか、彼の目で常に見ていなければならない。彼はすべての状態を頭のなかに入れ、フリーになった選手にすばやくパスを送るとともに、いかなるパスをしたら、どのような展開が得られるかを考えていなければならない。

第4図

Ⓑ タイムリーなパスにより、味方選手の切り込みを、より一層効果的にしなければならない。

Ⓒ パスをしたあとに自分自身突進し、ゴールが危険になるようにし、敵のプレーヤーにじゅうぶんな守備ができないようにしなければならない。

Ⓓ 5の方向にパスすることができ、どの方向にも敵のカットがはいらないようにしなければならない。

（2）ポストプレーヤー4と6は、対応して彼等の任務である右に走る。

Ⓐ ボールを持っている者2からいつパスがきてもいいような状態で走り、ボールを受け取ったならエリアラインに向かって走り込もうとする。そしてノーマークになろうと努める。

Ⓑ この走りで守備側の選手は、マン・ツー・マン・ディフェンスの形をとらざるを得ない。もしここにパスがはいると守備側はピンチになるのでこのパスを通さないようにするだろう。選手6および4は、まず走る前にフェイントをかけ、自らの走る場所をつくる必要がある。

Ⓒ 選手6および4はこの走ることによって、守備側の体制に大きな穴をつくる。この守備のスキに後ろに選手3が走り込んでくる。

Ⓓ 同時に左サイドで、2：1の攻撃有利の状況が生まれる。

（3）ボールを持っているプレーヤー2はこのようなすべての状況をよく知り、まずエリアのポストプレーヤーがマークされていて、彼へのパスがきわめて危険で、しかもパスが通らないことを知ったらそこに守備のスキができる。そのスキにプレーヤー3が飛び込んでくることもよく知っている。これがわかったとき、彼に他の方向へのパスを促し、選手3はフリーにボールを受け取り、ノーマークのシュートチャンスに恵まれる。

（4）プレーヤー3に、もししっかりとマークがついていたなら、新しい守備のスキが生じていることを知り、ボールをノーマークになっているサイドの選手7に送ればよい。このようにして選手をあますことの目的は達成される。

（5）非常に確実な安全なパスの道がひとつ選手2に残っているのだ。たとえ、すべての選手がマークされていたとしても、右のサイドプレーヤー5がまだ残っている。

すでにしばしばふれたように、この急速にパスの方向を変えるという基本は、相手に一瞬だれをマークしたらよいのか判断を狂わせ、守備体制に破たんをきたす原因になるものである。

この変化のフォーメションについてもう一度まとめておこう。

（1）チームは常に深さと広がりをもっていなければならない。

（2）パスの方向はいつも多く存在している。

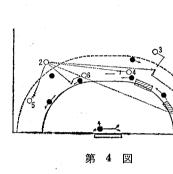
（3）各々のパスのポイント（空間および時間的にも）は常に守備にとって危険な瞬間である。

（4）守備選手の体制はボールを持っている者のパスの方向に左右される。

（5）守備のスキは、攻撃の選手の一致団結した行動で作られる。

そして急速にボールの方向を変えることでそれをじゅうぶん利用できるようになる。このようにボールの方向というのは非常に重要な意味をもっている。

訂正

本誌34号（7月号）の11ページ「立大、4回目の優勝」は「6回目の優勝」の誤りでした。訂正します。立大の優勝は25年春、26年春、秋、38年春、40年春に次いで6回目です。

14チームで職場対抗

大崎電気・日本で初の試み

底辺拡大—つまりハンドボールの普及はたいへんな事業だと思う。これをやらないと、そのスポーツは衰微していく。一般大衆に浸透させるにはどうしたらいいのか。頭が痛いご時世ではある。ところが、ここに耳よりなニュースがある。おそらく日本では初めての試みであろうと思われる〃職場対抗ハンドボール大会〃。これがそろいもそろってズブのしろうとというから、うれしい話ではありませんか。そのニュースを全国のハンドボーラー諸兄諸姉にお知らせる。職場大会を開いたのは、大崎電気埼玉工場（埼玉県入間郡三芳村）。

インドの技術者も参加

第19回都民体育大会ハンドボール競技が開かれた6月4日のこと。大崎電気埼玉工場に勤務する田口侑義君が「鴛尾さん!! おもしろいニュースがあるよ。きっと飛びつくでしょう。なんだかわかりますか」と意味あり気に話しかけてきた。私は言った。「私は大崎電気の職場ハンドボール大会のことだと思う。実は君からそのことを聞きたいと思っていたんだ。いまから取材するから、洗いざらいしゃべりたまえ」。そこで田口君は「実はそのことなんですよ。おもしろいニュースでしょう。しかもこの職場大会に5人のインドのエンジニアが参加しているんですよ」という。「では話してくれ」ということになった。

選手は初心者ばかり

この職場ハンドボール大会は埼玉工場の職員。もちろん田口君はじめハンドボール部員は参加の資格がない。つまり全くのしろうとだけの大会なのだ。40代以上の工場長、部長、課長、係長、社員たちが正式な選手。それにインドから埼玉工場に実習にきている5人のインドの人と、近くインドに指導に行く大崎電気の技術者の混成チームなど14チーム。勝ち抜き戦と敗者復活戦とを採用、どのチームも2試合以上やることになった。

次回は女子の部も

試合は10分—5分—10分で、同点のときはジャンケンで勝敗を決める。昼休みの時間を利用し、約18日間かかったそうだ。この大会を開くに当たってレフェリーの6人が一カ月前から準備を進め、昼休みを利用してハンドボールのルールを説明した。それも個人個人でなく、チーム単位にパス、キャッチ、シュート、ディフェンスなど手をとって教えたとか。むろん、初めてハンドボールを握る人ばかり。〃日本一〃のアンツーカーコート二面を持つこれらの大崎電気の選手（?）は、最初のうちボールが手につかった（田口君の話）そうだ。しかし試合ごとにコンビがそれ、GKのパスアウトも「GK日本一」といわれる福本君（大崎電気）顔負けのすばらしさ（ホントですよ）。1勝したチームはみんな自信を持ち、ころびかたも堂に入ったもので〃けが人〃はゼロ。結局、研究課が優勝した。次回には女子の部を設けようかとすごい意気込み。

インドの人もほめる

この職場大会に参加したインドの人たちの中には、バスケットボールの選手、クリケット（英国の国技で、日本の野球によく似ている）の選手がいる。この大会で初めてハンドボールになじんでわけだが「バスケットボールをよく知っているので、ハンドボールにはすぐなれた。スピードがあってとてもおもしろい。すばらしいスポーツだ」とほめていたそうだ。

（共同通信社・鴛尾武治）

チヨダは印刷機材の合理化を推進する総合メーカーです。

営業三課／栗田満夫

パーフェクトは夢の印刷機（全自動）です。超薄紙から厚紙まで、忙しい人手の足りない工場に大好評。

営業一課／庄司政雄

パーフェクトはたくさんの賞賛の言葉をいただきました。よい製品をつくる励みになります。

営業三課／打林行夫

本社新社屋

新製品 **パーフェクト** 全自動B四截凸版印刷機

8

千代田印刷機製造株式会社
千代田印刷材料製造株式会社

本社	東京都千代田区神田猿楽町１－４	TEL 東京(292) 2011（代）～8
横浜支社	横浜市西区高島通り１－７	TEL神奈川(045) 44－6572・7358・7028
福岡支社	福岡市御供所町３番16号（聖福寺前）	TEL 福岡(28) 3960・0153
立川工場	東京都昭島市東町１丁目１番地５号	TEL 立川(0425) 2－2470・4383
九州工場	佐賀県小城郡牛津町（牛津駅前）	TEL 牛津 72

横浜支社

プラスタ・チハコバさんは、ことし22歳になるチェコスロバキアのお嬢さんである。日本のハンドボールチームにとっては「よき友」である。一昨年3月の男子、昨年10月の女子チームがプラハ（チェコスロバキア）で世界選手権大会に参加したときの日本語の通訳である。日本語はペラペラ。

ことし3月下旬、日本大学留学のため来日、日本の美術、建築を勉強している。下宿しながら猛勉強。（下宿先・東京都練馬区小竹町一ノ四三、寺田方）

チハコバさんは6月5日、駒沢第一球技場で開かれた都民体育大会ハンドボール競技を観戦した。

都民体育大会から

（上）大崎電気の竹野奉昭選手（チハコバさんの右）と並んで女子の試合を観戦。2年ぶりのご対面である。

チハコバさんいわく「竹野さんにごちそうになったヤキトリは、とてもおいしかった」。これには〝おどろいたな、もう〟。ハンドボールと関係ないものね。竹野選手の後ろは大洋デパートの井監督。

（中）「プラハにきた日本の女子チームの人たちは、さすがにおじょうずですね。でもチェコスロバキアの女子チームの方が、ほんのちょっとうまいかなー」。これは愛国心の現われ。大崎電気の早川がロングシュートを沈めた瞬間、思わず左手を上げ「うまい」といったときのスナップ。

（下）共同通信社の鷲尾記者から、試合経過を聞くチハコバさん。「日本が今度チェコスロバキアと対戦したら、絶対日本が勝つよ」と説明したら、チハコバさんは「それ、ホント?。でも私は日本チームが大好きだから、絶対勝ってもらいたい」という。これは外交辞令。

×　　×　　×

北川勇喜君の腕に期待

北海道　万代　秀三郎

北海道高校大会から

　雪と寒さのため約半年を制約される本道では、他諸県のように普及発展は遅々として進まない。創立後十八年にしてことしようやく26チームの登録を数えたという現状である。全道高校約３００にたいしてその1割に満たない普及率で、まことにお恥ずかしいしだいです。いまその原因を要約すれば次の3点にしぼられると思う。

（1）地理的条件（2）指導員の不足（3）中学への不浸透

　第一の点については、冬季競技を除くあらゆるスポーツについていえることであるが、場所によって多少の相違はあろうが、11月から翌年4月いっぱいまではグラウンドの使用が不能である。屋内体育館があっても、寒さが激しいため思うような練習ができない。降雪の多い年ですと、東京方面がお花見だというのにグラウンドはまだ乾ききっていないというところが多い。この点、1年を通じて練習できる地方がほんとうにうらやましい。

　次に指導員の問題です。もちろんこれも各種目に当てはまるでしょうが、償秀な指導者のいるところは上達も早い。普及度もよい。昭和25年に皆川茂夫君が着任されてから函館地区の普及度は上昇するし、レベルもグンと上がってきた。北川勇喜君が相次いで赴任してきたとたん、室蘭地区が完全に全道に覇を唱え出した。別紙の分布図でわかるように、函館地区と室蘭地区が北海道ハンドボール界を二分している。また4年前、北海道学芸大釧路分校で初めてハンドボール部が誕生し、最初の卒業生新橋満君が赴任した北の紋別高校がチームを誕生させた。それいらい北見の工業高校を入れてことしは5つのチームが諦生した。

　札幌は古くから札幌商高チームが孤軍奮闘しているが仲間チームの誕生がない。大学チームとして北大があるのみ、ことど室蘭の北川勇喜君が札幌へ転任したので、間もなく新らしいチームが続々誕生するものと期待している。他府県の四つも、五つも集まったような広さの北海道、まだまだ指導者の不足は続きそうだ。日本協会のこの方面への開発に一段の援助を切望する。

　次に、いつものことながら中学校へのテコ入れだ。クラブ活動をほんのわずか取り入れているところはあるが、チームとして組織されているところはゼロだ。中体連が他の種目で盛んに大会や交歓試合をやっているが、残念ながらこの種目はない。文部省の指導要領の選択科目がガンだ。必須科目に取り上げられるよう努力することが先決だと思う。

　最後は本道高校チームの活躍の跡をたずねて見よう。昭和23年、第三回国体（久留米市）に函館西高校女子が初出場し、足利女に4−2で惜敗した。5年後の第八回国体（今治市）の一般女子で優勝した北星クラブの主将田中誠子が当時の選手だった。この第八回大会に高校男子で函館工業が決勝で愛知桜台高に8−6で敗れて準優勝。女子函館中部高校が3位を獲得し、総合優勝を飾ったはなやかな年だった。以下道代表になった高校代表をたどって見よう。最後に函館工業高を育てた岡田豊夫君、函館東高を育てた岩井辰太郎君に感謝します。

全道高校分布図
（41年度現在）

男 ○ 14 チーム
女 ● 12 チーム

稚内　紋別　北見　札幌　登別　室蘭　函館　釧路

	全国高校		国体	
年	男子	女子	男子	女子
23	—	—	—	函館西
24	—	—	函館商業	〃
25	函館中部	函館西	函館中部	〃
26	函館商業	〃	函館商業	〃
27	函館工業	函館中部	〃	函館中部
28	〃	函館西	函館工業	〃
29	〃	函館中部	〃	〃
30	函館中部	〃	函館中部	〃
31	函館工業	〃	〃	〃
32	〃	函館東	函館工業	〃
33	〃	〃	函館中部	〃
34	函館中部	〃	〃	函館東
35	函館工業	〃	〃	〃
36	〃	室蘭清水丘	函館工業	室蘭清水丘
37	室蘭商業	〃	室蘭商業	〃
38	函館東	〃	函館東	函館中部
39	〃	室蘭商業	室蘭商業	室蘭清水丘
40	〃	〃	〃	室蘭商業
41	函館工業	〃	?	?

冬の練習が問題

東北　由利　弘

東北地方高校のレベルも女子チームの場合、一応全国的に高い水準に達しているが、男子高校の場合は今一歩の上達がほしい。大会運営も数回の全国大会や国際試合の経験もあり、また各県からは海外遠征選手も数人出す実績もあり関東、関西のチームに比較して決して見劣りしない。しかしハンドボールが現在のように盛んになり、1972年のオリンピック開催種目となっているだけに、現状はこれでいいのか？。機関誌によって他県の状態を知ると、強く反省し、その対策に努力しなければならない時期であると思う。問題解決法は多くあると考えられる。

第一に施設の問題と底辺拡大の問題である。これはいままですべての人から言われていることだ。東北地方の場合、直接施設の問題が底辺の問題と関連するので、第一にあげられるのではないだろうか。雪国という悪条件のため、冬休みはいうまでもなく、いちばんたいせつな春休みさえ一部の県以外ではグラウンドの練習に出られない現状である。中学校の体育館は他のクラブといっしょに窮屈な練習しかできない。冬期間の約半年間は体育館使用の問題が大きく影響し、効果ある練習ができない。

この問題はさらに中学チーム育成にも関連があり、関東や関西の中学と比較して非常に困難である。したがって中学との技術的関連がなく、部員の確保さえ困難な現状である。この対策は困難であるが、不可能ではない。施設の面も福島県立体育館、秋田和洋女子高ハンドボール専用体育館、進行中の秋田県立体育館、さらに全国大会を開催する岩手、青森の両体育館。これらの施設を利用して冬期間中の練習および室内の試合計画、それぞれチームに明るい見通しがあると思われる。

特に東北地区高体連で、他の競技種目のように高体連主催の冬季室内選手権大会ができないものだろうか。施設の問題も明るくなってきたし、中学対策も指導要項に入れてもらうべく努力を希望するとともに、高校生を断えず刺激し、中学生の関心を得ることも必要であろう。前記施設にも先進チームの合宿に利用させ、高校チームに刺激を与えるのも一つの方法である。そのほか各地に建設されているスポーツトレーニング・センターの利用なども解決の一つの方法になるのではないか。

第二に技術の交流についてであるが、これも交通の便が悪く、練習試合の不足が上達を妨げている原因である。〝井の中のカエル〟的面も多くあったが、最近はよくなり、宿泊を要しない練習試合もできるようになった。私は一日も早く全国レベルに達するよう努力しています。（了）

男女とも停滞気味

近畿　村田　弘

過去の全国高校選手権の成績を眺めて見ると、寝屋川（女子）の優勝4回だけで2位は男子の天王寺、兵庫工、豊中、女子の寝屋川、春日丘1回となっている。また国体の優勝は男子天王寺3回、兵庫工、豊中が各1回。女子は春日丘3回、寝屋川、豊中高女（現桜塚）各1回となっている。全国高校、国体でベスト4に残ったことの多かった戦後10年間に比べ、最近あまりかんばしくない。

体力、技術の著しい進歩をしてきた全国のレベルに比べ、最近の近畿地区は停滞気味でこれといった傑出したチームが出ていない。特に名門高といわれた男子の天王寺、豊中、女子の春日丘、寝屋川、京都女子、尼崎、那賀が弱くなったことは寂しい。抜群の実力を持つ愛知を筆頭に関東、東海、中国、四国、九州の力は一段と増してきた。これは猛練習によるものが大きい。また全国的大会の地方開催で地元の力の入れかたが非常に大きく影響し、その年に一気に上位にのし上がっている。それに反し近畿は、昭和31年の第7回インターハイ（藤井寺）第11回国体（加古川）開催後10年間も大きな大会が開かれず、りっぱなゲームを見る機会が少ない。刺激に乏しくマンネリズムに陥っていることもレベルの上がらない原因の一つに考えられる。

〔男子〕京都は洛星、伏見工がずば抜けて強く、全国のベスト4にはいる力を持っている。どちらに軍配が上がるかおもしろい。大阪は春のベスト4のうち佐野工だけが残り、いちばん安定しているので優勝は堅い。もう一校は三国丘、初芝、天王寺のなかから出る。兵庫はことし少し低調である。常勝明石、兵庫工がチーム結成3年目の西宮東に敗れる番狂わせが出た。和歌山は和商以外になく、来年のインターハイが思いやられる。奈良は体格に恵まれた東大寺が実力で優勝した。滋賀はあまりすぐれず馬力の高島の優勝となろう。

〔女子〕大阪は充実している大谷が優勝し、全国的に相当いけそうである。2位は新鋭の住吉学園となった。兵庫は甲子園学院、尼崎が落ち、よく粘り最近実力を増してきた夙川の初優勝。京都は明徳、精華の優勝戦となるが、あまり期待できない。滋賀は八幡商の優勝は決定的で、対外的におもしろいチームである。和歌山は和商、奈良は生駒が優勝したが、これもレベルが低い。ただ和歌山の貴和高が来年を目ざしてがんばっている。

全国的にみて京都の男子がベスト4に期待を持てるのと佐野工、女子の大谷がどこまで勝ち進むか。（了）

鳥取県の奮起を望む

藤田信義

中国地方は昭和39年島根、鳥取両県の協会設立で待望の全県加盟をなし遂げ、ブロック各種大会も年ごとに盛大なものになった。中国地方の高校チームの普及は中程度であろうか?。山陽側は歴史の古い岡山県(男女とも26)43年インターハイ決定の広島県(男14、女9)山口国体で男女高校優勝の偉業をなしとげた山口県(男12、女7)が続き、山陰側は協会設立後間もないので多くは望めないが、男5、女4の増加はうれしい。鳥取県の奮起を熱望する。全般的に多少増加の傾向にあり、一校でも二校でもふやしたいものである。

さて、実力はどうか?。一概にはいえないが、最近の国体などを参考にすれば上の下クラスではなかろうか。各県の実情を5月1、2日の両日山口市で開いた第17回中国5県高校選手権および各県インターハイ予選などを参考にしてみよう。

男子高校は山口県が圧倒的に強く、昨年に引き続きベスト4を独占した。1位下関中央工、2位宇部工、3位徳山、下松工と層の厚さを物語っている。インターハイ予選でもディフェンスに絶対的自信を持つ名門下関中央工がシーソゲームのすえ強豪徳山を、また決勝で古豪宇部工を13—10で破り代表権を獲得した。これに下松工を破った岩国、岩国工が続いている。

広島県は5月下旬の県総合体育大会で常勝修道が、よく粘る同型の広高に10—9で敗れ。この広高は決勝でロング、ポストに強い遅攻の尾道に20—18で敗れた。この三者は技倆伯仲、いずれも甲乙つけがたく、インターハイ予選がたのしみである。これに次ぐのが三原工、呉宮原であろう。

岡山県はインターハイ予選で児島が黒に黄横線2本の伝統のユニホームの名門天城を延長戦のすえ1点差で破った。児島、天城、矢掛の三校は力量接近し紙ひとえの差である。次に岡山工、津山工がある。新進気鋭の島根県の度合いは著しく、昨年は創立2年目にして研究と努力の松江工が国体予選で修道を破って勢いを示した。また優勝した下関中央工(国体2位)に最後まで食い下がった奮戦ぶりは記憶に新しい。ブロック内でも注目の的となり、これからの成長が見ものである。このほか出雲農林、浜田水産、付属農林なども松江工に刺激され、大いに発奮することと思う。

鳥取県は境高の一人舞台であるが、強豪徳山を相手に予想外の善戦は見るべきものあり、今後の精進を期待したい。6月鳥取市で開催された文部省主催の中国、四国、九州体育実技講習会を機会に普及に拍車をかけられるよう希望する。

成功したハンドボール教室

疋田忠

ことしの二月別府市で開かれた九州ハンドボール協会の理事会で「高校ハンドボールのレベルアップはいかにすべきか」との議題があった。これにたいし各理事の意見として「三月の休暇を利用してハンドボール教室を実施しよう」ということになり、場所を坂ノ市の海洋会館で開催することになりました。大分県はことし国体開催の年であり、選手強化対策に力を入れていた矢先でもあった。本県からは国体候補チームは全校参加することに決め、大分国体では上位入賞を目ざし参加しました。なお大分県教育委員会も大いに協力してくれました。

次にハンドボール教室を紹介いたします。

▽第一回九州高等学校ハンドボール教室

【主催】九州ハンドボール協会
【期日】昭和四十一年三月二十六日から三十日まで五日間
【場所】大分市坂ノ市、海洋会館
【後援】大分県教育委員会、大分県国体実行委員会
【講師】小袋是郎、藤田八郎、中西敬一、島田秀四、沢田一夫、三友英功、疋田忠、財前久範
【参加県】福岡、熊本、宮崎、大分
【参加人員】男子45人、女子38人
【日課】午前6時起床、7時体操、7時30分朝食、9時〜10時練習、12時30分昼食、14時30分—17時30分練習、18時夕食、19時〜21時講義、22時消灯

チーム単位の参加や、各県の代表の参加などでありました。編成は男子四班、女子を三班に分け、基礎練習、攻撃法、防御法、フォーメーション、コンビネーションなど細部にわたり各講師が指導しました。後進県である宮崎、大分は参加選手や指導者にとって非常に有意義な教室でありました。日課でも規定されているように、2時間の講義では、時間がたらないくらいです。参加選手の質問やルールの解釈、練習方法など終始熱心な態度でした。どんな小さいことでも吸収しようとする真剣な態度が参加選手全員に現われていました。若手講師である島田、沢田、三友の各氏の指導はもちろんのこと、実際に即してのプレー(動き)などには非常にきびきびした動作が現われ、沢田、三友両氏のパスワークなど口では説明できない高度の技術の披露があった。

四泊五日ではちょっと期間が短かったような気もするが、第一回の試みとしては有意義なハンドボール教室であり、チーム参加と個人参加の県がありましたが、今後じゅうぶん研究したく思っています。鹿児島、長崎、佐賀各県の不参加は寂しかった。(了)

先輩に〝敬礼〟

落合高（岡山）

先輩とは、全くいいものです。第一、遠征で出向いていくと、食糧（?）を持ってきてくれますし（失礼）、先日も岡山市へ遠征しましたが、ことし就職したばかりの先輩二人が駆けつけてくれました。そのうちの〝クロカベ〟とあだ名のついていた先輩の色の白くなっていたこと、黒いことではひけめをとらなかった私たちは、大いに気を強くして帰ってきました。でも先輩の多くは関西地方に就職していますから、すぐ会うことができないのが残念です。二、三カ月前に、久しぶりに大阪に就職している先輩に会ったのですが、すっかり〝おんなのこ〟らしくなっているのに驚きました。とてもハンドボールを片手に、ショートパンツをはいて真っ黒になっていたとは想像もつかないくらいでした。でも私が一年のとき、インターハイ予選で1点差で負けた。このとき一生懸命に涙をこらえていた先輩の姿には感服しました。またこんなことを言っていました。「苦しみが喜びにかわったとき、つくづくハンドボールをしていてよかった」と。こんな先輩に、後輩一同〝敬礼!!〟

岡山・落合高チーム

先輩!!ありがとう

三田学園（兵庫）

昭和24年、現部長の大原靖男先生によってハンドボール部が創設（併設の中学部も同時に）ことしで18年目。その間、兵庫県優勝は高等部1回、中学部が3回とあまり輝かしい歴史ではない。しかし戦績はともかく、学園内ではいちばん練習が厳格で、チームワークがよいと自他ともに認め、また誇りに思っている。学園の卒業生にはハンドボール関係者が多い。日本協会の参与である岩野次郎先生、元寝屋川高校校長の森先生、昭和14年ごろ早大でやっておられた中尾さん、同じころ東京教育大の丸岡先生、中島先生（いまはラグビー）など…。

OB会はチェリークラブという名前。OBは120人ほど。練習会は月2回現役と合同（第2、第4日曜）。会費は練習参加費をそのつど300円。OBと現役の昼食費に当て、あまった金は現役のユニホーム代。入れ替わり立ち替わり20人ほどの参加者「練習中にへばるようなOBは、初めからユニホームに着替えるな」が鉄則。それでもコートサイドに背広姿の超OBの顔が並ぶ。途中でへばっては現役の教育上悪いからとのこと。

年2回のOB総会は市内の一流レストラン。いつも満員。会場の入り口で会費以外の合宿費の寄付をとられている先輩。「先輩ありがとう」と心の中で感謝。このおかげで僕たち現役は、なにも心配せず伸び伸びと練習ができる。先輩って、ほんとうにいいものだ。家族的で、それでいて厳格な現役ーOBの間柄。これを誇りと思っている。（主将　南孝司）

兵庫県三田学園OB月例練習会のOBと現役

先輩に負けるな

瑞陵高（愛知）

希望とあこがれの瑞陵に入学してまず最初に驚いたことは、クラブ活動の活発なこと。放課後ともなると、19の運動各部が〝グラウンド狭し〟とばかりに若きエネルギーを発散していることでした。聞けば、3、4年前までは県

高校総合体育大会で準優勝、あるいは常に上位にランクされていたものだそうです。当時の特色としては優勝する種目は二、三ではあるが、ほとんどの種目が上位に入した賞ものだそうです。

しかし、この1、2年はあまりかんばしくなく、女子にいたっては一層それがひどいようです。本校のクラブ活動の特色としては1年のときは全員が加入し、しかもほとんどが3年間持続修練するため、またクラブと勉強を両立させるため練習日は週5日、練習時間は毎日5時までとなっている。したがって1日せいぜい1時間半程度の練習です。他校に見られないほど活発です。こうしたなかにありながら、女子ハンドボール部はクラブ員不足で部を存続させるのが精いっぱい。これが悩みの種です。こうした苦境を克服し、先輩に負けず、先輩の偉業を恥ずかしめないようがんばりたいものです。（女子ハンドボール1年生代表）

（愛知県立瑞陵高チーム）

愛媛勢を破れ

三本松高（香川）

昭和三十九年四月、高校時代の後輩である石原君（高松一高→日体大）が本校に着任した。その年の六月、本校にハンドボール部が誕生した。その当時、香川県におけるハンドボール普及率は非常に低く、男子6チーム、女子1チームという状態です。このような状態のなかで本校女子チームが誕生したが、ハンドボールにかんしては全く知識がない。イチから指導するという状態であったが、全校生徒、職員の応援と部員一同がよくがんばり、1年後全国大会に出場する栄冠を勝ち取った。全国大会初出場ということで、香川県出身で現在大分東高校の監督をしている川西君にお願いして、大分東高に合宿させていただいた。2回戦で東京代表の桜水商高と対戦し、善戦したが惜敗した。初出場でふんいきにのまれはしたが、部員一同がよくやったと思っている。以上のような状態のなかで順調に育っているが、四国において愛媛の壁は厚く、昨年度の全国大会出場を契機として部員一同よく奮起し、ことしは全国大会三回戦、できれば愛媛の壁を破りたいと猛練習に励んでいる。（正見）

香川県総合体育大会・観音寺商高対三本松高の試合

雪辱ならず

仙台育英高（宮城）

第15回宮城県高等学校総合体育大会は6月4日、5、6日の3日間、仙台市を中心に開催された。わが育英チームは春の大会の成績でシードされ、今大会は2回戦で早くも優勝候補の宿敵古川工と対戦。古川工とは昨年の新人戦の決勝で優勝を争い、苦敗している。もちろんその雪辱戦とばかり練習に励み、作戦もじゅうぶんに研究し試合に臨んだ。

試合は育英のスローオフで始まったが、前半作戦どおりにチーム全体が動けず、8－2と完全にリードされてしまった。ハーフタイムでもう一度、同じことを念を押され後半にはいった。やっと全員が前半とは見違えるような動きをみせ、1点1点と着実に点を重ねた。逆に古川工にあせりがみられ、動きが乱れていった。しかしあと10秒のところで1点差に追いつきながら雪辱ならず、またしても涙をのんだ。

みんなで試合を反省し、われわれの基礎のたりなさを互いに認識し、翌日からまた基礎から練習に励んでいる。〃こんどこそは〃と心に念じながら、みんな同じ思いで必死の練習である。（主将　石田英治郎）

仙台育英高チーム

〃気力充実〃

藤島高（福井）

昭和38年、東先生が高志高校から本校に赴任され、同好会形式でスタートしました。当時、体育の授業でも実施せず、ルールも全く知らない生徒を相手に、運

動場の片すみで根気よく指導されたとのこと、現在は体育の授業で各学年に実施し、校内球技大会まで開かれるようになったのは先生の努力によるものです。翌年、部として学校から認められ、男子部もできました。男子部は進学学校の課外授業などのハンディキャップを克服し、39年の夏の大会いらい、県内の大会では不敗を誇り、昨年秋の北信越大会では準優勝するまでに成長しました。女子部は残念ながら県下でBクラスでこれといった成績を示していません。ことしの春、教員チームの一員として活躍されている竹野先生を迎え、先生を中心に練習に励み、男子部の活躍に負けない成績をあげんものと張り切っています。いままで理科教員としての東先生が一人で男女の部を指導しておられたのが、竹野先生がこられたので男女チームがじゅうぶん指導をうけられるようになり、その成果が着々とあがっているような気がする。「気力充実」を合いことばに栄冠目ざして練習に精進していきたいと思っています。

福井県藤島高校チーム

僕らの中沢先生

屋代高（長野）

高校にはいって初めてハンドボール競技を始めた僕たちにとって、もし監督の中沢正巳先生がいなかったら現在の屋代高校ハンドボール部はなかっただろう。昭和26年創立いらいインターハイ、国体と輝やかしい戦績をおさめた僕たちのこの伝統は、中沢先生とは切っても切れないものになっています。とにかくなにも知らなかったハンドボールを手にする僕らに、基礎から高度の技術まで手をとって教え、今日までにしてくれました。練習での先生はきびしく容赦なく注意を与えます。試合がすんだあと、先生にほめられることはめったにありません。悪いところをゼスチャーたっぷりに皮肉られる。泣きたい気持ちの中に「なにくそ負けるものか」という気をいつも起こさせてくれます。練習ばかりではありません。日常生活や大学進学のことまでも心配してくれます。こんないい先生を持った僕らは感謝しています。先生を中心に鳩ケ丘ク（屋代高OB）のよき先輩たちに続けとばかり毎日練習に励んでいます。

（主将　石沢）

中沢・山西先生をかこんだ屋代高チーム

すばらしい魅力

高津高（阪大）

僕が初めてハンドボールを知ったのは高校に入学してからです。それまではハンドボールの「ハ」の字も知りませんでしたが、偶然にもハンドボールを知ってからそれに没頭するようになりました。いざ、ハンドボールをやってみると、他のスポーツでは味わえないすばらしい魅力がわかってきました。狭い場所で簡単にプレーができる。ゴールインしたときのなんともいえない快感。キーパーは味方のゴールを必死で守る。それらはチームプレーのだいご味をじゅうぶんに味わえます。そんなすばらしいスポーツが、どうしてもっと盛んにならないのでしょう。僕は残念でなりません。いまサッカーがずいぶん人気を集めています。その理由は、うまい運営（マスコミの利用、体育授業への採用、適当なコーチの派遣など）でしょう。ハンドボールはこれからのスポーツですが、やはり、将来のハンドボール界をになう若い選手をできるだけたくさん養成してほしい。日本のハンドボールが世界のハンドボールになるには、日本のハンドボール界を運営していらっしゃる先輩の努力が、もっと必要になってくるのだろうと思います。

高津高ハンドボール部

部の歴史

若松一高（福島）

本校は福島県会津若松市に、大正12年若松裁縫女学校として開校した。その後、昭和19年に若松女子商業高等学校と改め、34年には現在の若松第一高等学校

福島県私立高校体育大会で連続優勝した若松一高チーム

と改称しました。本校にハンドボール部ができたのはその年の4月です。35年には早くも福島県代表として全国大会に出場、明善高校に敗れはしたものの、その活躍は目ざましいものがありました。しかし、その後の活動は停滞気味で目立った活動は見られず、膠着状態に陥りました。そこで38年に思い切った新メンバーを編成して心機一転を図り、それが見事に成功してその年福島県で第二位を獲得できました。翌年も二位を保持し、ここにハンドボール部は確固たる地位を築き上げました。第17回東北選手権兼第15回国体予選に参加し、準決勝で岩手県代表の盛岡二高と対戦して接戦を展開、第二延長のすえ、惜しくも敗れ、国体出場の機会をのがしました。また、第2回東北室内選手権大会でも準決勝まで進出し、強豪三菱鉛筆チームを相手に善戦健闘したが及ばず、敗れました。福島県私立高等校体育大会ハンドボール競技で三連勝し、いまはインターハイ優勝を目ざして練習を続けています。（主将　成田リチ子）

練習で泣いて試合で笑おう

足利工高（栃木）

足利工高ハンドボール部は、昭和23年創立いらい実に19年の伝統を持っています。過去幾多の先輩の活躍で関東大会入賞、全国大会にも、出場の経験もあります。また板屋コーチをはじめ国体出場の経験ある選手で足工ＯＢ会という先輩に指導され、比較的恵まれた環境のもとに練習をやっています。

足利工主将石川のシュート

昨年は地元足利市で関東大会が開催されましたが、男子の本県勢は不本意な成績に終わってしまった。ことしはすでに関東大会の出場権も獲得し、〝ことしこそは〟と雪辱の意気に燃えています。現在、第21回国体県予選をひかえ毎日毎日汗をグラウンドに埋め、一生懸命練習をやっています。本校は三方を足尾連山の緑の山に囲まれ、他方を渡良瀬川の清流にはさまれています。部員16人は、冬は寒風をついて河原を走り、夏は青葉のむれる尾根をかけ回り、走力をつけています。僕たちの合いことばである「練習に泣き、試合で笑おう」というのを実現させたいため、みんな歯を食いしばってがんばっています。あとは全員で試合にベストを尽くすだけです。

試合から学びとる

平沼高（神奈川）

「試合」—それは私たち選手にとって日ごろ練習してきた成果を現わす絶好の機会です。よい試合をやりたい、勝負に勝ちたい—と思うから、ふだんの激しい練習にも耐えられるのです。ハンドボールはチームプレーの競技、7人が一体となって初めてよい試合ができます。また勝つこともできるのです。1人でも気持ちがくずれると、たとえ勝負に勝っても、それは試合に敗れたことになります。だから試合が近づくと、練習はチームプレー中心になります。私は部長を引き受けてからまだ2カ月。その間に市民大会、関東大会予選の試合がありました。まだ私にみんなを引率する力がなかったことと、部員難による練習不足からこの二つの大会は、いずれも第一戦で敗れてしまいました。けれど部員難に悩まされていた私たちには、試合に参加したことによって、試合でなければ経験することのできないものを得ることができました。それらのものは、これらの私たちの練習や試合に大いに役立つと思います。「試合」これこそ私たちの日ごろの練習の最上の目的です。

平沼高女子チーム

月月火水木金金

遺愛女高（北海道）

遺愛のハンドボールといってもまだ年が浅く、私たち個人のハンドボールにたいしての意見も、具体的になにをいっていいのかわかりません。私たちのクラブは創立いらい4年の間、これといったコーチも決まらず、スポーツをする者の最大の夢である〝全国大会出場〟などは実現不可能—全くの夢でした。でもいまではコーチも決まり、精神的にも安定しました。2年生を主体として近い将来に夢を実現しよう！と毎日の練習に耐えています。その練習方法も、私たちだけではやったことのないような最もハンドボールの中心となるシュートの基礎練

遺愛女高チーム

蹈から、フォーメーションにいたるまで、他校に比べ少しの見劣りもしないだろうと自負できるほどの練習をしています。それにみんなの力の入れぐあいも変わってきて、土曜、日曜の休みも惜しまずに練習に励むようになりました。文字どおり月月火水木金金の練習です。
　先日、練習試合をしたところいままで大差で負けていたチームにも、練習の成果が実を結んでほんのわずかの差となりました。今後の試合には大いにこれらのことを生かしがんばっていきたいと思います。

インターハイ目ざす

添上高（奈良）

　2チームということしの奈良県の女子の試合。「なんや、たったの2チームか。負けても2位やないか」と思われるだろうが、私たちクラブ部員は1チームの相手に勝とうと毎日練習に励んでいます。試合を見、やってみてハンドボールとは「体力とチームの団結」と感じました。1時間という限られた時間内に、練習した自分のチームの力を出し切るからです。

添上高女子チーム

　練習と違って試合になると、あがってしまう。シュートは決まらず、チームワークがとれなくなってしまいます。これはキャプテンである私の責任です。みんなを引っ張っていかねばならないのに、先にあがってしまったり、シュートが決まらずあせったりするからです。私たちのチームのいちばんの欠点は、練習したことが試合に出ないことです。練習の力をそのまま試合に持っていけるチームほどすばらしいことはない。近くインターハイの予選が開かれます。高校生活最後の3年生にとって、最高のインターハイへ出場するため16人の部員たちと最後の練習に汗を流しています。

（主将　川上幸子）

愛されるハンドボール

門司高（福岡）

　3年前に、ハンドボール部が同好会としてウブ声をあげました。日体大で活躍された清川先生が本校に着任、すぐにハンドボール普及にとりかかりました。正課に取り入れられ、クラスマッチも盛んになりました。そしてハンドボールの名前さえよく知らなかった生徒の間に急速に広まり、全生徒に最も親まれるスポーツの一つになりました。こうした中で、クラブ結成の動きが起こったのは当然のことです。前に述べたようにまず同好会として発足。諸先生の暖かいご支援と先輩の努力とファイトで、1年もたたないうちに県室内選手権で準優勝という輝かしい記録を残しました。活動も軌道に乗り、みんなから愛される部になってきました。
　さて本校ではハンドボールは確固たる地位を築き、年々盛んになる一方です。クラスマッチや授業でかなり高度な試合をやっています。しかし門司区内のチームは本校と実業団の岡野バルブのみでしたので、試合をやるにもたいへん不便でしたが、最近他校にもクラブ結成の気配が見え、ことしの門司区内高校体育大会でもハンドボールが開かれることになりました。ほんとうによかったと思っています。（主将　前田秀男）

主将　前田秀男

ことしの抱負

室蘭商（北海道）

　ことしもインターハイがやってくる。昨年は選手の精神的もろさや選手の負傷などで、惜しくも全国大会出場をのがした。ことしはその昨年の欠点を補って懸命の練習を重ねている。しかし、年々女子生徒の増加、男子生徒の入部不足などで選手層が薄く、どうしても女子との練習では試合時でのハンディがある。それでも監督や諸先輩のきびしい指導でなんとか、その難点を克服しようとしている。わが校の男子チームは部員数10名。しかも平均身長165センチの小チームだ。少しばかりのフォーメーションとチーム最大の得点源である速攻とで、春季地区大会、リーグ戦の試合経験を積んできた。いままでの試合経験ではやはり昨年同様、精神面であせりともろさが現われ、僅差で後半苦戦した試合が幾度となくあった。残された期間中で、チーム力を最高潮にし昨年果たされなかった「全国大会出場権」をぜひ勝ち取りたいと思う。

×　×　×　×

日沖　修氏死去

　日沖　修氏（三重県協会理事長・日体大出）6月27日胃ガンのため、津市の三重県立大付属病院で死去。36歳。葬儀は5月29日津市の浄安寺で行なわれた。
　同氏は三重県ハンドボール育ての親といわれ、すぐれた指導力と実行力で大きな功績があった。なお第二回全日本総合選手権（昭和25年）の優勝メンバー（スワロー松・LB）

徳永氏退院

　足のけがで入院していた徳永陸繁氏（日本協会常務理事）は6月28日退院した。

ヤルダ君来日

　ブラスタ・チハコバ嬢に次いでヤルダ君ことヤロスラフ・プジブラムスキー君が7月12日羽田着のインド航空機で来日した。ヤルダ君は、昨年10月に日本女子チームがチェコスロバキアに遠征したときにチハコバ嬢のアシストとして通訳した。日本語はなかなかうまい。プラハの大学で日本語を専攻している。
　なおヤルダ君は約二カ月間、日本に滞在の予定。

連載第24回

ハンドボール球史

〜全日本学生選抜東西対抗〜

「あの選手とこの選手とを組ませたら、さぞすばらしいチームができるだろう」スター同士の顔合わせを期待するのは、なにもプロスポーツにかぎったものではない。日本のアマチュアスポーツ界ではほとんどの種目が「東西対抗」を開催しているのも、関係者やファンのそうした〝夢〟を実現するためであろう。

ハンドボール界でも毎シーズンの恒例の行事として『全日本学生選抜東西対抗』があり、レベルの高い試合を展開している。かつては学生のほか一般男女、高校男女の東西対抗があったが、高校は全国高校、国体高校の二つの選手権があるので、東西1位校を対決させる必要がなくなった。一般は各地にいるプレーヤーによる合同練習が思うにまかせず、国内最高レベルの試合を披露することがむずかしくなってきたためそれぞれ廃止となっている。一般の東西対抗がなくなったことは関係者やファンの夢をかき消すことにもなるが、この協会の措置は当を得たものと筆者は思う。

ところで「全日本学生選抜東西対抗」は、昭和23年に第1回が開かれている学生王座決定戦の前座に組み込まれ、一位校の選手が欠場するといったナンセンスな時代もあって停滞しかけた。最近はこの大会に出場することを誇りとするムードが再び生まれ、東西の激しい対抗意識も手伝って毎年好勝負を演じている。今回はこの大会の記録をまとめてみたが、年度によっては出場選手以外の選手名（交代選手）に不明なものがあることを、あらかじめお断わりしておきたい。

なお、昭和37年以降は東西の中間地である名古屋で東海学連主管のもとに開かれている。また、地方学連から選手が選抜されるようになったのは昭和34年からである。昭和25、27、28年の3回は学連OB東西対抗も開かれている。

第1回は東軍が快勝

▲第1回（昭和23年12月29日・西宮）＝全日本学連結成記念試合

東軍 7（3－2 4－2）4 西軍

【東軍】		【西軍】
高橋（教大）	GK	熊倉（関学）
鈴木（教大）	FB	近藤（関学）
箱崎（教大）	FB	南条（関学）
植川（明大）	HB	柿崎（関学）
川島（教大）	HB	横田（大歯大）
井上（早大）	HB	滝野（京大）
広瀬（早大）	FW	平岡（大歯大）
岡村（教大）	FW	白井（関学）
松野（明大）	FW	渡辺（関学）
松本（教大）	FW	千福（大歯大）
水野（早大）	FW	宇田（大歯大）

【交代】▽東軍GK萩原（早）、BK梅原（明）朝垣（早）FW小川（明）黒木（慶）▽西軍GK野路（大阪歯大）BK田村（関学）FW小林（大阪二師岸（大阪工専）

〔注〕東軍側の教大は、当時文理大と称していましたが、後年との関連のため現在の名称を使用しました。

西軍雪辱、連勝へ口火

▲第2回（昭和25年1月15日・西宮）

西軍 4（3－2 1－1）3 東軍

両軍1勝1敗

【東軍】		【西軍】
高倉（日体大）	GK	熊倉（関学）
朝垣（早大）	FB	八代（大工専）
中野（日体大）	FB	中田（大歯大）
大竹（法大）	HB	田中（関学）
植川（明大）	HB	横田（大歯大）
高橋（教大）	HB	万石（大歯大）
広瀬（早大）	FW	白井（関学）
岡村（教大）	FW	渡辺（関学）
水野（早大）	FW	三宅（大歯大）
小川（日体大）	FW	鈴木（関学）
勝（日体大）	FW	竜（大工専）

【交代】▽東軍GK萩原（早）BK滝田（明）FW梅原（明）▽西軍GK浜田（関大）BK木下（京大）松岡（大工専）FW北浦（関大）那須（神戸経大）

▽OB東西対抗（第1回）

関東OB 6（2－1 4－3）4 関西OB

▼第3回（昭和26年1月15日・駒沢）

西軍 10（4－2 6－0）2 東軍

西軍2連勝・2勝1敗

【東軍】		【西軍】
上田（明大）	GK	熊倉（関学）
森岡（早大）	FB	乾（関学）
朝垣（早大）	FB	檜垣（関学）
大嶽（立大）	HB	熊代（立命大）
高橋（教大）	HB	川畑（関学）
北村（教大）	HB	甲谷（関学）
浦上（立大）	FW	筒井（関学）
藤原（教大）	FW	本西（関学）
小川（立大）	FW	三宅（大歯大）
梅垣（早大）	FW	白井（関学）
佐野（教大）	FW	木下（立命大）

【交代】▽東軍GK粟崎（早）FW石田（日体大）小野（早）▽西軍GK浜田（関大）BK斎藤（関大）FW渡辺（関学）

西軍大差で3連勝

▼第4回（昭和27年1月15日・西宮）

西軍 10（5－1 5－4）5 東軍

西軍3連勝・3勝1敗

【東軍】		【西軍】
浜田（立大）	GK	熊倉（関学）
稲森（慶大）	FB	乾（関学）
横田（立大）	FB	藤原（関学）
富田（教大）	HB	檜垣（関学）
村上（慶大）	HB	川畑（関学）
田辺（立大）	HB	甲谷（関学）
浦上（立大）	FW	岡本（大歯大）
藤原（教大）	FW	渡辺忠（関学）
小川（立大）	FW	渡辺一（関学）
沢田（教大）	FW	三宅（大歯大）
進藤（立大）	FW	白羽（関学）

【交代】▽東軍BK羽成（慶）GK浅倉（所属不明）。▽西軍BK高田（関大）GK岡

東軍GK浜田選手（立大）は前年まで関大に在籍して活躍。学生の東西対抗で東西両軍から選抜され出場したのは、同選手をおいて他にいないであろう。

▽OB東西対抗（第2回）

関西OB 9（2―2 7―2）4 関東OB

東軍4年ぶりに勝つ

▲第5回（昭和28年1月15日・神宮）

東軍 10（7―3 3―3）6 西軍

東軍4年ぶりの勝ち・2勝3敗

【東軍】
GK 朝芝（慶大）
FB 石井（日体大）
稲森（慶大）
HB 林（日体大）
村上（慶大）
菊地（日体大）
FW 高山（日体大）
進藤（立大）
勝（立大）
浅野（日体大）
石田（日体大）

【西軍】
GK 宮下（関大）
FB 寺田（関学）
藤原（関学）
HB 山内（関学）
朝日（関学）
甲谷（関学）
FW 白羽（関学）
三宅（大歯大）
渡辺（関学）
森島（関学）
中山（関学）

【交代】▽東軍FW増田（慶）▽西軍GK熊倉（関学）BK高田（関大）FW田原（関学）

▽OB東西対抗（第3回最終）

関東OB 18（9―3 9―5）8 関西OB

▼第6回（昭和29年1月15日・西宮）

西軍 12（5―4 7―6）10 東軍

西軍2年ぶりの勝ち・4勝2敗

【東軍】
GK 石田（早大）
FB 中子（早大）
渡辺（早大）
HB 中村（立大）
隅田（早大）
安藤（法大）
FW 五十畑（早大）
木村（法大）
森岡（早大）
樽見（早大）
佐野（教大）

【西軍】
GK 宮下（関大）
FB 藤原（関学）
山之内（関学）
HB 朝日（関学）
高田（関大）
甲斐荘（同大）
FW 三宅（大歯大）
田原（関学）
森島（関学）
渡辺（関学）
中山（関学）

【交代】▽東軍GK片山（日体大）BK山本（日体大）FW松山（早）▽西軍GK植田（同大）BK宮本（同大）

この年から、一般男子の東西対抗が同時開催されることになり、この慣例は昭和30年12月（学生第8回、一般第11回）まで続いた。

余談になるが、一般男子東西対抗は昭和33年の第13回（戦前通算17回）まで同女子は昭和23年から3回、高校男女は昭和25年から5回それぞれ開いている。これらの記録は、いずれ改めて掲載することにしよう。

▼第7回（昭和30年1月16日・神宮）

東軍 14（9―2 5―7）9 西軍

東軍2年ぶりの勝ち、3勝4敗

【東軍】
GK 光島（日体大）
FB 望月（日体大）
遠藤（日体大）
HB 狩野（日体大）
山本（日体大）
斎藤（日体大）
FW 幸田（日体大）
鈴木（日体大）
浅野（日体大）
小林（芝浦工大）
山家（中大）

【西軍】
GK 大和（関学）
FB 館本（同大）
石原（関学）
HB 甲斐荘（同大）
森（関学）
伊窪（関学）
FW 芋川（関学）
朝日（関学）
田原（関学）
藤原（同大）
今西（関学）

【交代】▽東軍GK小野（日体大）FW柳沢（日体大）▽西軍FW佐伯（関学）

東軍タイに持ち込む

▼第8回（昭和30年12月18日・西宮）

東軍 17（7―2 10―5）7 西軍

東軍2連勝・4勝4敗

【東軍】
GK 小野（日体大）
FB 堀（日体大）
竹尾（明大）
HB 桜井（芝浦工大）
斎藤（日体大）
今田（日体大）
FW 新村（教大）
幸田（日体大）
浅野（日体大）
柳沢（日体大）
小林（芝浦工大）

【西軍】
GK 植田（関学）
FB 石原（関学）
寺田（関学）
HB 甲斐荘（同大）
森（関学）
深江（関学）
FW 芋川（関学）
高取（関大）
今西（関学）
田原（関学）
池尻（関大）

【交代】▽西軍FW喜田（同大）

昭和31年度から中断

第9回大会（昭和31年度）は昭和32年1月15日神宮で開く予定だったが、同競技場が第3回アジア大会に備えて改修工事のため使用不能となり、中止になった。それ以後、昭和32年、33年度と連続3年間この大会は開かれなかった。これは多くの観衆を収容する施設が見当たらなかったことも一因だが、やはり関東側の2リーグ（関東学連、東京5大学）併立が影響したといってよさそうだ。

昭和34年11月に4年ぶりに復活、この年は第16回を迎えるが、この大会のスコア、それに選抜された選手の母体を見ると、その時代時代の力関係が表現されているようで興味深い。

なお第9回（昭34）以降の各大会は次のように本誌各号で詳しく掲載されている。

▽第9回（昭34）……1号27頁
▽第10回……4号21頁
▽第11回……8号19頁
▽第12回……12号19頁
▽第13回……15号19頁
▽第14回……19号25頁
▽第15回……27号26頁

さて関東学生篇に始まり関西学生篇、全日本学生王座決定戦篇それに今回とつづってきた学生界関係の球史は、本号をもってひとまず完結とします。

芝浦工大8回目の優勝

全日本学生選手権

男子第9回、女子第2回全日本学生ハンドボール選手権大会は7月12日から大阪府堺市の大阪府立大グラウンドで開かれた。男子は予想どおり芝浦工大対立大の優勝争いとなり、芝浦工大は後半関根の活躍で立大を破り、3年連続優勝、通算8回目の優勝を飾った。女子は日体大が2連勝した。

▼男子準決勝

芝浦工大 21（13―1 8―9）10 中大

立大 17（7―2 10―8）10 同志社大

▽決勝

芝浦工大 15（7―7 8―5）12 立大

▼女子準決勝

日体大 14（7―4 7―3）7 中京大

東女体大 10（3―3 7―3）6 中京女大

▽決勝

日体大 15（9―2 6―3）5 東女体大

〔注〕詳しい記録は次号に掲載

東京都協会だより ○●○●

法大が代表となる

全日本総合選手権関東予選

第18回全日本総合選手権大会関東予選は7月3日、埼玉県入間郡三芳村の大崎電気埼玉工場コート（アンツーカー）で東京、山梨、栃木、神奈川、群馬、茨城の6都県が参加して開かれた。6チームを3チームずつのA、Bブロックに分けてトーナメントとし、Aブロックの塩山クラブ（山梨）Bブロックの法大（東京）が全日本大会の出場権を獲得した。

なおこの関東予選は東京都協会の主管によって開かれた。

「Aブロック」

▽1回戦

塩山ク（山梨） 18（12－5, 6－7）12 AOK（栃木）

▽決勝

塩山ク 20（9－4, 11－5）9 全神奈川（神奈川）

（神奈川）	得		（塩山）	得
青木	0	GK	大村	0
池田克	0	GK		
池田哲	2	FP	原田	3
小林	1	FP	鮎川	1
後藤	1	FP	雨宮	3
林	1	FP	小川直	0
石岡	0	FP	金子	4
松本	1	FP	宮原	5
室住	0	FP	平塚	4
宮東	1	FP	三井	0
植田	2	FP	小川進	0

20（1）7MT（0）9

「Bブロック」

▽1回戦

法大（東京） 36（21－3, 15－6）9 光電工業（群馬）

▽決勝

法大 26（13－6, 13－3）9 勝田自衛隊

（勝田）	得		（法大）	得
木村	0	GK	三浦	0
小田	0	GK	高倉	0
宮脇	1	FP	米沢	4
畑山	0	FP	岩崎	7
奥	1	FP	飯島	5
福井	5	FP	正木	3
平池	0	FP	川島	6
富永	0	FP	大山	1
根本	0	FP	五十嵐	0
新山	2	FP	岩月	0
平山	0	FP	宝住	0

26（0）7MT（1）9

× × ×

日体大ク、明星クに敗る

全日本東京都予選

第18回全日本総合選手権大会東京都予選は6月19日、26日の両日、都立神代高校グラウンドで開かれた。優勝候補の日体大クラブは準決勝で明星クラブの速攻に敗れる番狂わせがあった。決勝は法大対明星クラブの対戦となり、スピードにまさる法大が明星クラブを破って関東予選の出場権を獲得した。

▼1回戦

早大学院 65（28－1, 37－1）2 雪ケ谷ク

桂友ク 不戦勝 府中ク

▽準々決勝

日体大ク 27（13－4, 14－10）14 桂友ク

明星ク 22（13－4, 9－10）14 日大

蜂山会 32（13－3, 19－6）9 桑朋会

法大 28（13－5, 15－3）8 早大学院

▽準決勝

明星ク 18（9－7, 9－7）14 日体大ク

法大 30（17－3, 13－5）8 蜂山会

▽決勝

法大 22（12－7, 10－8）15 明星ク

（明星）	得		（法大）	得
原田	0	GK	高倉	0
中島	0	GK		
高橋侚	1	FP	米沢	7
高野	3	FP	岩崎	2
鈴木	4	FP	飯島	3
氷海	0	FP	正木	4
高橋英	0	FP	川島	3
木全	1	FP	大山	2
佐々木	4	FP	五十嵐	1
山口	1	FP	岩月	0
高梨	1	FP	宝住	0

22（0）7MT（2）15

日本協会と連絡会議

東京都協会と日本協会との連絡会議は7月5日午後6時半から東京・赤坂のホテル・ニューオタニで開いた。東京都協会から渡辺会長、外山理事長、中沢、安藤両常任理事、日本協会から高嶋理事長、若崎、青木、岡村各常務理事が出席した。この会議で日中親善東京大会について意見を交換したほか、渡辺会長が全日本実業団連盟理事長としての資格で、日本リーグ中止の経過を報告した。

移転通知

共同通信社は三月下旬、東京都港区赤坂葵町二に移転した。電話番号は（584）4111。

地番変更

東京都協会の所在地は地番変更のため、9月16日から次のようになります。

（新）品川区東五反田二ノ二ノ七　大崎電気工業株式会社内

（旧）品川区五反田一ノ二六三

地方だより

田村紡が2連勝 男子 常盤工業も2連勝

◇第2回東海実業団選手権大会（5月29日、6月5日・愛知県体育館）

「男子」

▽A組リーグ

常盤工業（岐阜）36—11 中部電力（愛知）

日本碍子（愛知）25—16 中部電力

常盤工業 49—6 日本碍子

▽B組リーグ

自衛隊久居（三重）30—12 昭和染工（愛知）

東海製鉄（愛知）29—18 自衛隊久居

東海製鉄 39—15 昭和染工

▽C組リーグ

タヨシ産業（愛知）19—17 日野自動車（静岡）

三菱重工（愛知）26—20 タヨシ産業

三菱重工 23—14 日野自動車

▽D組リーグ

本田技研（三重）40—16 ブラザー工業（愛知）

大同製鋼（愛知）35—30 ブラザー

本田技研 39—9 大同製鋼

▽準決勝

常盤工業 28（12—6 16—7）13 東海製鉄

本田技研 22（13—5 9—5）10 三菱重工

▽決勝

常盤工業 29（11—5 18—10）15 本田技研

▽三位決定戦

東海製鉄 26（11—11 15—6）17 三菱重工

▽五、六位決定戦

タヨシ 22（7—6 15—11）17 日本碍子

（順位）①常盤工業②本田技研③東海製鉄④三菱重工⑤タヨシ産業⑥日本碍子⑦大同製鋼⑧陸上自衛隊久居⑨中部電力⑩ブラザー工業⑪昭和染工⑫日野自動車

「女子」

▽決勝リーグ

田村紡（三重）35（17—0 18—2）2 ブラザー工業（愛知）

愛知紡（愛知）35（17—1 18—2）3 ブラザー工業

田村紡 11（5—1 6—4）5 愛知紡

（順位）①田村紡②愛知紡③ブラザー工業

関東学院が優勝 女子は平塚江南

◇第17回全国高校神奈川県予選（5月28日—6月5日・翠嵐高校グラウンドほか）

「男子」

▼1回戦

横須賀工 14—10 市立川崎

立野 17—7 慶応

多摩 16—15 茅ケ崎北陵

法政二 16—12 希望ケ丘

県商工定 15—12 平沼

鎌倉学園 16—10 相模台工

新城 22—13 県商工

川崎工 18—14 向岡工

東高 18—11 大船技術

少年工科 23—11 三浦

▽2回戦

川和 18—3 横須賀工

関東学院 24—5 立野

法政工 13—12 多摩

県商工定 14—11 翠嵐

鎌倉学園 17—11 法政二

川崎工 17—10 新城

東高 20—16 少年工科学校

南高 14—7 横浜商工

▽準々決勝

関東学院 16—12 川和

県商工定 16—11 法政工

南高 13—12 東高

鎌倉学園 12—6 川崎工

▽準決勝

関東学院 17—5 県商工定

鎌倉学園 8—4 南高

▽決勝

関東学院 10（5—4 5—1）5 鎌倉学園

「女子」

▼1回戦

平塚江南 11—1 東高

川和 7—3 南高

県立川崎 6—1 平沼

▽準決勝

平塚江南 11—0 川和

県立川崎 7—6 大津

▽決勝

平塚江南 5（0—1 5—1）2 県立川崎

（注）少年工科学校は湘南高（通信教育）です。

名城大付ら代表に

全国高校選手権愛知県予選の最大激戦地愛知県予選は4月末から第一次、第二次、決勝リーグと三ラウンドの予選を重ねた結果、男子は名城大付（2年連続2回目）中京商（2年ぶり9回目）、女子は稲沢（4年ぶり7回目）名女商（3年連続3回目）がそれぞれ代表に決まった。

▽男子決勝リーグ

名城大付 33—6 名古屋西

中京商 17—10 名市工芸

名城大付 33—9 名市工芸

中京商 20—12 名古屋西

名古屋西 18—16 名市工芸

名城大付 19—5 中京商

【順位】①名城大付②中京商③名古屋西④名市工芸以上代表

〔注〕前年優勝の桜台は推薦出場

▽女子決勝リーグ

稲沢 12—4 一宮

名女商 27—3 豊橋商

稲沢 19—1 豊橋商

名女商 10—6 一宮

豊橋商 9—7 一宮

稲沢 8—6 名女商

【順位】①稲沢②名女商＝以上代表②豊橋商④一宮

編集後記

〇…元大崎電気の市原則之君（広島）がプロボクサーに転向したというニュースは、その後の調べでその事実がなかった。ハンドボールの選手はお互いに自分の行動についてじゅうぶん注意してほしい。

〇…盛岡のインターハイは全国高校体育大会のひとつとして開かれる。真夏の太陽の下、若人たちの元気なプレーを考えただけで、血わき肉おどる。

〇…大崎電気の埼玉工場で職場大会を開いた。14チームの参加とか。ハンドボール部員は出場資格なし。全くのしろうとの集まり。底辺拡大のお手本。インド人もビックリ。「おどろいたな。もう—」。（ふぐ）

三菱ボールペン

●オフィス用　●ポケット用

¥30から¥500まで各種

S—300
¥　300

ダイヤボールだけの書き味

スッキリとさえた書き味——
ダイヤボールだけのものです
ダイヤモンドの次に硬い合金
タングステンカーバイドのボールと
三菱独自のインクとのハーモニによって
はじめてこのさえた筆跡が生まれます

ダイヤボール

三菱鉛筆株式会社

日本ハンドボール協会編
ハンドボール
第三十五号
昭和四十年六月　日第三種郵便物認可
昭和四十一年七月二十五日印刷
昭和四十一年八月一日発行
発行所 日本ハンドボール協会
東京都渋谷区神南町二五
電話 大代表(467)三一一一
振替東京五八三四八番
編集兼発行人 高嶋冽
定価百五十円